

近畿本部 情報工学部会 2026年3月度例会の案内

◇日時：2026年3月14日（土）14時00分～17時00分

◇場所：〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-9-15 近畿富山会館ビル2階

日本技術士会 近畿本部 大会議室

現地 定員 15名 / Web中継 定員 100名（ハイブリッド形式）

※現地参加の方はその旨、メールにてご一報ください。

◇会費：日本技術士会 会員、協賛団体会員 1000円、未入会者 2,000円、

学生 無料

※支払：月例会参加後、会計より振込先口座をご連絡します。

◇申込みWeb：<https://jyouhou.ipej-knk.jp/wp/>（申込期限 3/13まで）

※Web申し込みができない場合はメール info@jyouhou.ipej-knk.jp でも可能

＜プログラム＞

（Zoom ミーティングルームには 13:55 以降、入室可能となります）

1. 諸連絡 14:00～14:10

2. 講演1 14:10～15:25

講 師： 荒木 崇 氏 株式会社伸和トータルエンジニアリング 代表取締役

テーマ：『10年越しの資格取得が教えてくれた“技術者が本当に考えるべきこと”』

（概要）

資格取得に10年以上を費やした経験を起点に、業務効率化のシステムをベースに、監視システム、IoT、スマートグラスを用いた技能伝承、特許取得した作業管理システム、AI開発など、私が携わってきた多様なシステム開発の実例を紹介します。



IT化からDX化、そして今では“何でもAI”と呼ばれる現在の潮流におけるメリットと課題を整理し、

今後技術者が果たすべき役割を考えます。

3. 講演2 15:35～16:50

講 師： 木村 桂吾 氏 技術士（経営工学）

テーマ：『 デザインレビュー再設計：上流×フロントローディング 』

（概要）



昨今、ますます複雑化する開発では、当たり前品質と魅力品質の両立が必須で、企画段階からのDR再設計が急務となっています。課題は後工程の手戻りとリスク顕在化の抑制です。本講演は、DRの歴史を踏まえ、開発着手の上流でのリスク抽出・合意

（MUST/NEVER）とフロントローディング、さらに総合信頼性レビュー（JIS C 62960）でライフサイクル全体を反復評価する“型”をご紹介します。

※月例会 終了後に懇親会も実施します。

ご参加希望は、以下アドレスまでご連絡ください。

◇問合せ先メールアドレス：info@jyouhou.ipej-knk.jp

4月の月例会は 第2週の11日(土)を予定しています。

